

食品ロス削減の推進について

1 食品ロス削減のために

食品ロスの削減に関して、平成27年9月に国際連合で採択された「持続可能な開発のための2030アジェンダ」に基づく持続可能な開発目標では、「目標12.持続可能な生産消費形態を確保する」において、食品廃棄の減少が必要な柱として位置付けられています。

このような状況の中、国においては、食品ロスの削減を国民運動として位置づけ、国・地方公共団体・事業者・消費者等の多様な主体の連携を図ることを目的として、「食品ロス削減の推進に関する法律（令和元年法律第19号）」が令和元年5月に成立、同年10月に施行されました。

群馬県においても、「第三次群馬県循環型社会づくり推進計画」を令和4年3月に改定し、計画の中で食品ロスの削減目標を設定する等、食品ロス削減への動きは一層高まっています。

本市では、このような国内外の状況を踏まえ、「渋川市もったいないの心を持って食品ロスの削減を推進する条例」を令和3年3月に制定、同年4月に施行しました。また、「渋川市食品ロス削減推進計画」を令和5年3月に策定し、行政として食品ロスの削減への取組を進めています。これまで、「渋川市食品ロス削減推進協議会」の設置、フードドライブの開催、YouTubeを活用した啓発動画の発信、しぶかわフードラブ協力店の登録制度の導入等の取組を実施しています。

2 令和6年度食品ロス削減への新たな取組について

(1) 私の食品ロス削減アイデアコンテストの実施

「食品ロスを削減するために、私ができること」をテーマに、食品ロス削減のための取組や食品ロス削減料理レシピを考案し、実践したことを広く周知することで、自分にできることを考えるきっかけにするとともに、食品ロス削減を「他人事」ではなく「自分事」として捉え、行動変容につなげることを目的に実施します。

(2) 食品ロス削減料理教室の実施

料理教室で使用する食材の一部に農産物の流通規格外野菜、諸事情により傷ついた果物等を活用し、農業（一次産業）から発生する規格外野菜（産地ロス）の削減を図ることを目的とします。この取組により、SDGsの教養の向上及び地産地消の学習に寄与することも期待されます。また、生産者から直接話を聞くことで一次産業の現場を知り、生産者の思いを理解することにつなげもったいないの

心を養います。

(3) 民間企業による食品ロス削減出前講座の実施

食品ロス削減について関心を持ってもらうことを目的に民間のノウハウを活用した食品ロス削減出前講座を実施します。また、講座を受講した児童がポスターや新聞等の媒体を作成し、校内等に掲載することにより、行政、民間及び学校連携型の食品ロス削減啓発を実施します。

3 私の食品ロス削減アイデアコンテストについて

(1) 内容

食品ロス削減に向けて、「取組部門」及び「料理部門」の2部門でアイデアを募集します。幅広い世代に取り組んでもらうこと及び多くの方に関心を持ってもらうために、夏休み期間を含む募集期間とします。

(2) 審査方法

第1次審査は渋川市食品ロス削減協議会委員による審査とします。審査基準については、主題性、表現性、波及性及び貢献・効果の4つの観点から点数による審査を行います。

(3) 表彰

10月が食品ロス削減推進月間であるため、10月中の公表を考えています。

(4) 今後の活用について

応募作品については、「食品ロス削減取組集(案)」として作成し、広く周知することを考えていますが、その他の活用方法については、検討します。